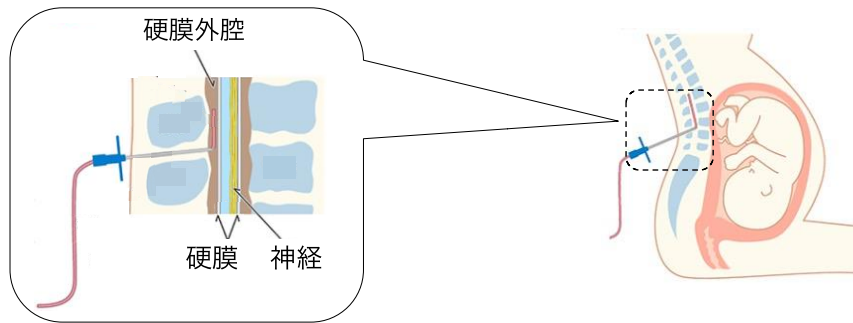


# ■ 無痛分娩について

## 硬膜外麻酔を用いた無痛分娩

陣痛の痛みを麻酔で和らげる経膈分娩は無痛分娩と呼ばれています。無痛分娩には様々な方法がありますが、硬膜外麻酔を用いた方法は安全性が高く効果的な方法として世界で広く行われています。



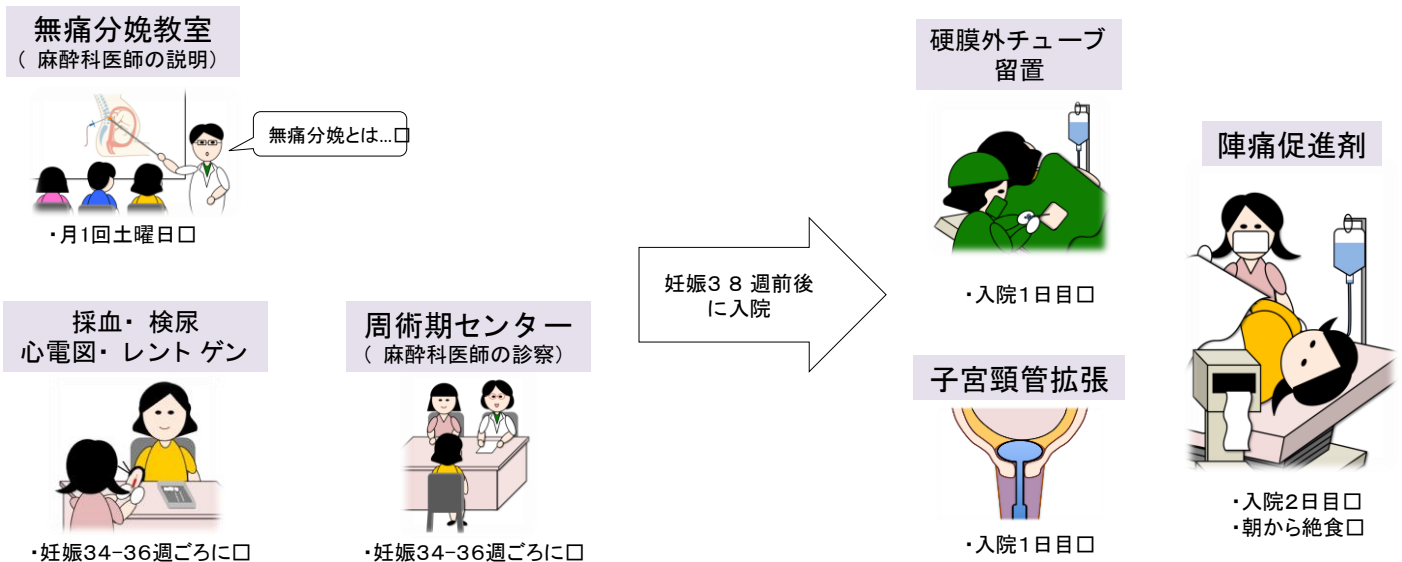
## 当院で行っている「計画無痛分娩」

福岡大学病院では必ず麻酔科医師が硬膜外麻酔を行います。当院の麻酔科医師は多くの予定手術や緊急手術の麻酔を担当するという事情により、当院で行う無痛分娩は「計画無痛分娩」です。計画より早く分娩が始まった場合には硬膜外麻酔が間に合わないことがあります。また陣痛促進剤の効果が得られない場合は、分娩に至るまでに日数がかかる場合があります。

無痛分娩 { 「自然無痛分娩」日程を決めず、自然陣痛がきてから硬膜外麻酔を導入する  
「計画無痛分娩」あらかじめ日程を決めて、硬膜外麻酔を準備し陣痛促進剤を投与する

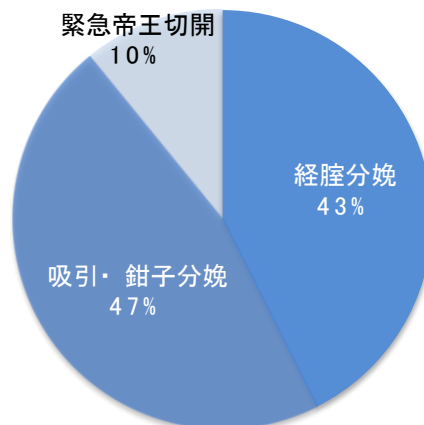
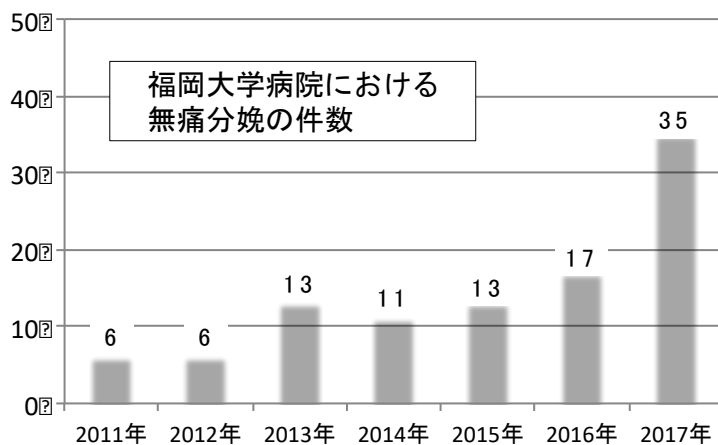
## 当院における無痛分娩の流れ

無痛分娩を受ける方は当院で無痛分娩を受けていただくためには、あらかじめ「無痛分娩教室」「採血・検尿・心電図・レントゲン」「周術期センター」の受けていただく必要があります。



## 当院でこれまでにおこなってきた無痛分娩

当院における無痛分娩の件数は近年増加が続いています。2011～2017年に101例の無痛分娩がありました。10%の方がさまざまな理由で緊急帝王切開になりました。経膣分娩の半数の方が吸引分娩や鉗子分娩を行っています。



## 無痛分娩の費用

原則として無痛分娩には健康保険が適用されません（10割負担）。

## 無痛分娩の安全性について

2017年6月に無痛分娩に関連した医療事故の報道が相次ぎました。無痛分娩の安全性に対する疑問が広がり、いくつかの学会や公的機関による調査がなされています。その報告によると、これらの事例は「麻酔の合併症」と「産科の合併症」に分けられ、それらの合併症に適切に対応できなかったことが背景にあると考えられています。当院では産科・麻酔科・新生児科が連携して無痛分娩の合併症の予防ならびに早期発見・早期対応する体制を整えて、安全性を高めるように努めています。



〒814-1080 福岡市城南区七隈7丁目45-1

TEL 092-801-1011(代)